

科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
作品講読	3	2		ちくま小説入門（筑摩書房）

**到達目標**

言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできる。

評価の観点	評価の内容
a 関心・意欲・態度	文章を読む楽しさを味わうとともに、言語文化に対する関心を深めようとしている。
b 話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め発展させている。
c 書く能力	目的や課題に応じて、自分の考えを効果的に表現している。
d 読む能力	文章を的確に読み取り、自分の考えを深め発展させている。
e 知識・理解	言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。

**評価の方法**

各定期考査、単元テスト、課題等の提出状況、学習活動への取組などの総合評価となります。

年間指導計画															
前期							後期								
月	予定 時数	学習内容	評価の観点					月	予定 時数	学習内容	評価の観点				
			a	b	c	d	e				a	b	c	d	e
4	4	「ブックトーク」	○	○				10	4	「ブックトーク」	○	○			
	2	「小説への招待」 ・小説の仕組み ・小説の表現 ・小説の豊かさ・可能性 ・小説の読解						11	3	「日本語の修辞技法」	○				○
								11	4	「日本の近代文学」	○		○	○	
									1	後期中間考査			○	○	○
5	5	「ボッコちゃん」 星新一	○		○	○		12	4	「日本の古典文学」	○			○	○
	5	「芝居がはねて」アントン・ チャーホフ	○		○	○			4	「中国の文学」	○			○	○
6	5	「銀の匙」中勘助	○		○	○		1	4	「西洋の文学」	○			○	○
	1	前期中間考査							2	「西洋の古典文学」	○			○	○
7	5	「闇の絵巻」梶井基次郎	○		○	○			1	後期期末考査			○	○	○
	5	「狐憑」中島敦	○		○	○									
8	5	「セメント樽の中の手紙」 葉山嘉樹	○		○	○									
	5	「黒猫」E・A・ポー	○		○	○									
9	1	前期期末考査													
									計 70						

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

**履修上および学習上の留意事項**

- ・教員の指示に応じて教材を忘れずに持ってくること。
- ・国語はあらゆる学習の基礎となることに十分留意し、日々の授業に集中して取り組むこと。
- ・生涯にわたって使う国語の運用能力の向上を目指すこと。
- ・授業をきっかけに自己の読書活動を広げ、習慣化していくこと。